

# 令和3年度 事業報告書

## 1 令和3年度事業概要

静岡市及び静岡県からの受託事業を確実に実施するとともに、市の発注業務に対する施工監理等の支援を行った。

また、樹木医との技術提携により、松原保全に係る専門知識や実践的な技術習得に取り組むとともに、保全業務やモニタリング調査、樹木診断の結果を検証し、次年度以降に実施する業務提案を行った。

さらに、来訪者や地元住民の三保松原への関心と保全意識を高めるため、市と共催した写真展の開催や冊子の発行、ホームページ及びインスタグラムの開設、マツ材線虫病や土壌改良等の技術情報の掲示板設置など、マツ林保全に関する情報発信に努めるとともに、地域やボランティアによる保全活動を支援し、地域連携によるマツの保全及び再生に係る東海大学との共同研究に取り組んだ。

## 2 事業別実績

### (1) 受託事業 ～日常的・専門的な管理～

静岡市、静岡県から受託した松原保全事業の実施と市が発注した業務の支援及び提案を行った。

#### ① リスク軽減事業

##### ・ マツ材線虫病防除

伐倒駆除の実施と薬剤散布、環境影響調査及び予防剤樹幹注入の設計・監理を行った。

##### ・ 老齢大木の樹勢回復

樹木医との技術提携による土壌改良モニタリング調査の実施と土壌改良、公益的機能モニタリング調査、羽衣の松周辺の老齢大木の薬剤散布、踏圧対策ルート維持の設計・監理を行った。

##### ・ 危険木対策

樹木医との技術提携による老齡大木の樹木診断と倒伏対策として腐朽対策、支柱設置、危険枝処理の設計・監理を行った。

## ②松原再生事業

- ・ 景観改善

間伐モニタリングを実施

- ・ 森林管理

松原管理システムの運用とボランティアによる保全活動の支援を実施

## ③三保モデル確立事業

- ・ 講習会の開催

学生に対する三保松原の保全に関する現地説明会や地元造園業者等を対象とした予防剤樹幹注入現地講習会を開催した。

- ・ 水平的連携モデル試行及び検証

講習会の実施や研究所の日々の活動、地域の松原保全活動を記録し、三保モデルについての考察及び課題、提案を行った。

## (2) 公益事業 ～財団自主事業～

### ①保全活動の支援

来訪者、保全団体、企業 CSR 活動など、松原保全に参加する各団体の意欲を高め、効果的な保全につながる活動の支援を行うとともに、「みほしるべ」から要望のあった保全活動に用いる道具等の支援を行った。

## (3) 研究開発事業 ～財団自主事業～

### ①マツに関する調査研究

マツノザイセンチュウDNA調査の検体採取を行うとともに、樹木診断による腐朽状況などの精緻な診断を行えるよう診断機器による調査体制を整えた。

### ②適切な松原管理手法の確立

将来にわたり、松原を適切に維持・管理していくため、効率的かつ効果的な管理手法について、管理団体である静岡市と方向性等を検討した。

③マツの圃場管理方法の調査研究

三保由来のマツを三保地内に造成された圃場で安定的に生産する方法について、さし木等を育苗して検証し、課題をまとめて市に提案した。

④マツの生育に関する調査研究

老齢大木の樹勢回復を図るための土壌改良資材を検証するため、試験地設置に関する市への助言を行った。また、今後の調査方法に関する有識者の指導助言を受けた。

⑤東海大学との共同研究

東海大学と共同で地域連携によるマツ林保全に取り組む中で、マツ林の価値・魅力について学生を対象に講義を行い、その内容を今後の普及活動に活用するため、テキスト「三保松原のマツ林解説（現状・歴史編）」を作成した。

(4) 教育研修事業 ～経営方針（目的・目標）実現ための事業～

コロナ感染拡大の影響により研修会等の中止や延期があった中、樹木と緑化の総合技術講座及び実習への参加や養苗施設の視察を行い、知識や技術習得に努めた。また、職員1名が松保護士講習会を受講し松保護士の資格を取得した。

①森林認証取得のための教育研修

管理団体である静岡市と検討を行ったが、研修等の実施には至らなかった。

②レジストグラフによる内部腐朽診断の試行

新たに樹木診断機器レジストグラフを導入し、日本樹木医会静岡県支部の樹木医参加のもと診断方法習得のための講習会を開催した。診断機器（アーボソニック、レジストグラフ）が揃うことで、より精度の高い腐朽診断が可能となった。

### ③危険木の診断技術の確立

大木の倒伏リスクは、外観診断や簡易内部診断の他、精密な樹幹内部診断による判断が求められるため、機器の操作やデータ分析等に習熟する必要があることから、技術提携した樹木医とともに現地診断を行い、診断技術の向上に努めた。

また、松原管理システム「三保まつしらべ」をより使い易いアプリに改善するため、開発事業者と情報交換を行い操作性の向上に取り組んだ。

### ④松原保全視察研修

他地域のマツ材線虫病の現状把握や、名勝地のマツ林管理について現状と保全手法を学ぶため視察研修を行った。なお、視察先の管理団体やNPO法人と意見交換を行い、松原保全に対する取組などを情報共有することが出来た。

## (5) 収益事業

静岡市及び静岡県からの受託事業と研究開発、教育研修などの自主事業に取り組んだが、収益事業には至らなかった。

当面は、組織としての実績と職員の専門的知識や技術力の向上に努め、収益事業については方向性、可能性を検討していく。